

## 校長式辞

木々の若葉や 草花の彩りが 勢いを増し、大地を潤す うりずんから 眩しく 光輝く夏を  
向かえる季節となりました。

本日、保護者の皆様のご臨席のもと、入学式が挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

238名の新入学生の皆さん、ご入学 おめでとうございます。名護中学校 生徒696名、  
先生方69名、総勢765名の仲間として、心から歓迎いたします。

正門から正面に見える石碑が二つあります。

その一つには 名護中学校の校歌があり、「力みなぎりたくましく」、そして「清く気高し」  
という言葉があります。「力みなぎり」は「自分に負けない強さ」に、「清く気高し」は「誰か  
からも認められる人間性」に通じるものとして、名護中学校で大切にし 育みたい生徒の姿につな  
がると思います。

もう一つの石碑には 名護中学校の生徒を支えてきた言葉があります。「学校は学ぶ場である」  
「学ぶものは真剣である」「学ぶものは素直である」という言葉で 昭和37年から伝えられ、  
現在では「学場真素」という教育理念となっています。

「学ぶ場」「真剣で素直」これが様々な場面で生きてくると 一人一人が「切磋琢磨」する名  
護中生が頭れ、勉強も部活動も…「文部両道」となり、「力みなぎり 清く気高い名護中生」が  
頭れてきます。

ぜひ、この名護中学校で、中学校三年間という人生の時間を 仲間とともに 一人一人が、「清  
く気高くあること」を大切にし、先生や先輩、友達と共に、励まし合い、語り合っ、深く絆を  
紡ぎ 「自分自身を向上」させながら、「友情」を育てて欲しいと思います。

「太陽は、太陽に向かって歩く者の前に、その道を照らす。」。太陽に向かって歩くと、自分  
の進む道が、太陽に明るく照らされます。太陽に背を向けると、自分の影しか見えず、太陽のな  
い暗い方向に進んでしまいます。

自分なりの太陽となる目標を持って、しっかり努力して、自分の道を築いていってください。

保護者の皆様に ごあいさつもうしあげます。

本日は誠におめでとうございます。

一段と成長した我が子の姿をご覧になって、どのような感慨をお持ちになられたでしょうか。  
我が子ながら、ちょっとまぶしさを感じられたのではないかと思います。

「花は紅にして美たり、といえども、一人咲くにあらず、春風来たりて初めて開くなり」とい  
う言葉があります。「花は赤くして美しい、けれども、一人で咲いたものではない。温かい春風  
が吹いて初めて花を咲かせるものだ。」というものです。

私たち名護中の職員一同、保護者の皆様、地域の方々と共に、子どもたちの春風として、一人  
一人に、しっかりと目を向けていけるよう努めて参りたいと存じます。

どうか、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞と致します。

令和2年5月22日  
名護市立名護中学校  
校長 根路銘 国斗